

27	課題番号	研究課題名	研究代表者	評価結果
	14102032	プロダクトライフサイクルのためのデジタルセマンテック製品モデルの研究開発	岸浪 建史（北海道大学・大学院工学研究科・教授）	B
<p>（意見等）</p> <p>研究全体の目標設定が具体的でなく、目標達成のための課題も絞りこまれていない。このため個々のサブテーマが散発的で有機的な連携に乏しく、全体としての統一性に欠けている。また、他の研究資金による研究との切りわけも明確でない。</p> <p>今後、研究全体の目標を見据えた個々の要素研究の絞りこみと、それらを統合した組織的な研究展開が不可欠であり、一層の努力が必要である。</p>				
28	課題番号	研究課題名	研究代表者	評価結果
	14102033	トラス型非中性プラズマを用いた高速流プラズマの高ベータ平衡と安定性の実験的検証	吉田 善章（東京大学・大学院新領域創成科学研究科・教授）	B
<p>（意見等）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・理論的基盤とこれまでの理論的考察の進展は高く評価できるが、しかしその原理的指針による実験が当初の計画よりかなり遅れている。 ・チャレンジングなテーマで困難の伴う実験であるが、なお一層の実験の奮起を望みたい。特に高速流プラズマの生成の目標値 10^5m/s が現時点で達成されていないと思われるが、それについての考察が必要である。 ・全般的に理論主導の実験であるが、より具体的に緊密に理論・シミュレーション・実験間の議論を行い、実験への新方式、技術を開発しながら目的の実験遂行を確実なものにしていただきたい。 				